

成果説明書

【政策 1 : 子育て・教育】

心豊かで自立できる人が育つまち

【施策 1-1】 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

【施策 1-2】 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、
社会全体（みんな）で取り組みます

【施策 1-3】 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

【施策 1-4】 かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用します

【施策 1-5】 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

【施策 1-6】 市民の人権意識を高めます

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
------	-----------------

所 管	教育委員会
関 連	
関 連	

◆ミッション

- 明治時代から受け継がれてきた「梅花教育」や、小諸の豊かな自然・歴史・文化といった財産や、医療・福祉などの子育て・教育に適した環境をフルに活用して、小諸ならではの子育てや生涯にわたり学びが実践できる環境を整える。
- ◎子どもたちの「生きる力」の育成を図る。
 - ◎教育環境の充実とともに、一人ひとりに応じた学びを支える体制の強化を図る。
 - ◎地域総ぐるみで子どもたちを育成する取り組みを推進する。
 - ◎生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進する。
 - ◎かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用する。
 - ◎スポーツ振興を図るとともに、高地トレーニングがまちづくりにつながるよう取り組みの展開を図る。
 - ◎人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図る。

◆方 針

- ◎子どもたちの「生きる力」の育成を図る。
子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」を高め、基礎学力の向上とともに、問題解決的な学習を通して、自ら考え行動できる力の育成を図り、すべての学びの場を通して「自己肯定感」の育成に努める。そして、「確かな学力」と「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の総体である『生きる力』の育成を図る。
- ◎教育環境の充実とともに、一人ひとりに応じた学びを支える体制の強化を図る。
子どもたちの学びを適切に支えるため、施設・設備の整備・充実とともに、一人ひとりの学びに応じた人的体制の充実を図る。施設・設備面では、長期学校改築計画の策定、施設の長寿命化対策の推進、ICT環境の充実、保育園の再配置計画の策定等に取り組む。また、人的な面では、子育て・教育における課題の解決に向けて、時宜に応じた配置や充実に努める。
- ◎地域総ぐるみで子どもたちを育成する取り組みを推進する。
学校と家庭、地域、関係機関等との連携による信州型コミュニティスクールを推進するほか、子どもたちの健全育成と安全・安心の確保に向けて、地域総ぐるみでの取り組みの強化を図る。また、安心して子育てができるよう、各年齢段階に応じたサービスの充実に努めるとともに、多様な子育てニーズに応えるため、各種事業のさらなる充実を図る。
- ◎生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進する。
生涯を通じた学びが広がり、生きがいづくりにつながるよう、小諸ならではの様々な資源を活かしながら、学習環境の整備、生涯学習機会の創出を図り、市民の主体的な学びを促進する。また、まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」の実現に向け、各種事業の充実を図る。
- ◎かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用する。
ふるさと「小諸」のかけがえのない文化財の保存・継承・活用等に取り組むとともに、歴史的な資料や古文書の収集・保存・研究等を一体的に進める。また、小諸の誇りを認識し、ふるさとを愛し大切に思う心を育むため、小諸の歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさを活かした「ふるさと学習」を進める。
- ◎スポーツ振興を図るとともに、高地トレーニングがまちづくりにつながるよう取り組みの展開を図る。
多様化するスポーツニーズへの対応に努めるとともに、統廃合を含め施設の適切な整備を図る。また、高地トレーニングで小諸を訪れるアスリートと市民との交流事業等を進め、競技へのきっかけの場やまちの活性化、健康づくりへの展開につなげる。
- ◎人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図る。
一人ひとりの人権が尊重され、大切にされる社会の実現に向け、保育園、小・中学校をはじめ、家庭、地域、企業等で、人権意識の啓発・人権同和教育を積極的に進める。また、教育・啓発活動とともに、市民の交流の機会の創出、相談体制の充実等を図る。

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-1	教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

所 管	学校教育課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動できるような「生きる力」を育むため、豊かな心と健やかな体の育成・基礎学力の向上・子どもの学びを支える教育環境の整備などに取り組んでいる。

喫緊の課題としては、学校改築・再編方針に基づく「長期学校改築計画」の早期策定であり、長期的視点に立った学校の適正規模・配置について検討し、統廃合も含め、学校教育審議会による議論を進める。

また、学校現場で質の高い指導が行われるためには、「教職員の働き方改革」を推進し、教職員が子どもと向き合う時間を確保することが課題となっている。不登校やいじめの改善に向けた継続的な支援等についても、さらなる取り組みが必要である。

◆方針

目的

子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」を高め、基礎学力の向上とともに、問題解決的な学習を通して、自ら考え行動できる力の育成を図り、すべての学びの場を通して「自己肯定感」の育成に努める。そして、「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の総体である「生きる力」の育成を図る。

子どもたちの学びを適切に支えるため、施設・設備の整備面では、長期学校改築計画の策定、施設の長寿命化対策の推進、ICT環境の充実等に取り組む。また、一人ひとりの学びに応じた人的体制の充実を図る。

◆令和3年度重点方針と目標

・具体的な再編方法等を検討している「学校教育審議会」からの答申を基に作成した、「学校再編(案)」の住民合意を図り、次のステージ(基本構想策定)へと移行する。

・学校施設長寿命化計画に基づき、施設や設備の長寿命化を計画的に進めるとともに、子どもたちの学習習慣・生活習慣の形成への支援、不登校未然防止の取り組みのほか、教員の資質向上や働き方改革の推進など「学びを支える体制づくり」を進める。

・小学校の「英語教科化」をはじめ「ICT教育」など、新学習指導要領への対応、環境整備を継続し学校現場への定着を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①豊かな心と健やかな体が育成され、基礎学力が向上し、子どもの学びを支える教育環境が構築された状態。
- ②学びに対する意欲や喜びが高まり、「生きる力」が育成された状態。

◆実績

令和3年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編基本構想(案)がまとまり、パブリックコメントを実施。新型コロナウイルス感染拡大により、対面での市民説明会を令和4年4月以降に開催することとした。 ・小学校に支援教員、中学校に不登校支援員、小中学校に学校生活支援員、英語指導助手(ALT)を市費で配置し、「学び」を支える体制づくりを進めた。 ・教育現場のICT化を進めるため、児童生徒の端末(クロームブック)用の学習ソフトのトライアルを実施。 	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	全国学力状況調査(小・中学校の全国平均値(100)との対比)						
設定理由	全国学力状況調査の結果が向上すれば、「学力」の習得の度合いが向上したと考えられるから。						
算式	※小:小学6年生・中:中学3年生の調査結果					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小93.5 中98.1	計画	小100 中100	小100 中100	小100 中100	小100 中100	
		実績	-	小93.0 中94.0			
指標名	全国体力状況調査(小・中学校の全国平均値(100)との対比)						
設定理由	全国体力状況調査の結果が向上すれば、「体力」が向上したと考えられるから。						
算式	※小:小学5年生・中:中学2年生の調査結果					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小97.3 中93.4	計画	小100 中100	小100 中100	小100 中100	小100 中100	
		実績	-	小100 中92.6			
指標名	学校へ行くことを楽しいと思っている児童・生徒の割合(全国学力状況調査)						
設定理由	上記指標の値が向上すれば、子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」が高まり、「生きる力」の育成につながると考えられるから。						
算式	※小:小学6年生・中:中学3年生の調査結果					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小88.2 中76.0	計画	小88 中76	小88 中76	小88 中76	小88 中76	
		実績	-	小82.4 中83.3			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年6月に学校再編基本構想を決定したことから学校再編計画の策定に取り組むとともに、小中一貫教育の具体的な導入について検討を進める。 ・学校施設の長寿命化に向けた改修を計画的に進める。 ・多様なニーズや学校運営上の諸課題への支援を継続し、「学び」を支える体制づくりを進める。 ・梅花教育推進事業交付金交付要綱の指導力向上事業(講演会、研修会、講習会等の開催及び参加等)により教員の指導力向上を図るとともに、新学習指導要領など学校教育の変化に対応した授業づくりや教員の働き方改革を推進するため、教育現場のICT化を進める。

◆個別計画

教育振興基本計画／小中学校ICT環境整備計画／学校施設長寿命化計画

◆特記事項

成果指標の全国学力状況調査・全国体力状況調査について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
教育委員会運営費		継続		24		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課		1:無		
事業概要	【運営費】 ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育委員会の運営					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	3,102 千円	3,051 千円	3,037 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	3,102 千円	3,051 千円	3,037 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	定期的な教育委員会の開催	回	計画	12	12	12
			実績	12	12	12
	事前研究会・研修会の開催	回	計画	12	12	12
			実績	12	12	12
令和3年度 実績			特記事項			
・定例、臨時教育委員会について適切な運営を行った。 ・事前研究・研修会において有意義な会議もたれた。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
教育委員会の定例会、協議会及び事前研究・研修会について、それぞれの位置付けや会議内容を随時検証し、必要に応じて運営方法を見直すことで、継続的に教育委員会の機能強化を図る。					今後の方針	維持

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
姉妹都市教育委員等連携事業		継続		20		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課		1:無		
事業概要	子どもたちが他地域の文化に触れる機会を確保するため交流事業を支援する					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	538 千円	79 千円	30 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	20 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	518 千円	79 千円	30 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	サマー・サイエンススクールの参加人数	人	計画	6	6	3
			実績	2	2	0
			計画			
			実績			
令和3年度 実績			特記事項			
・滑川交流 坂の上小学校へ補助金交付。 ・中津川交流 サマーサイエンススクールの開催周知。参加者募集。			滑川交流は新型コロナ感染予防のため、ビデオ交換による交流となった。 サマーサイエンススクールはコロナ禍のためweb開催となった。各中学校に参加者を募集したが、申込者がいなかった。			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
姉妹都市の周知と過去の交流活動を紹介し、学校・団体による自主的な交流事業の活性化を図る。					今後の方針	維持

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
事務局運営費		継続	25			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課	1:無			
事業概要	【運営費】 ・施策推進のための事務局運営費					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	4,657 千円	4,616 千円	892 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	4,657 千円	4,616 千円	892 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			計画			
			実績			
			計画			
			実績			
令和3年度 実績			特記事項			
・各課各係の運営を円滑に実施した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
定常的に事務局組織の見直しを行うとともに、事務局内の横の連携を密に図ることで、効率的かつ効果的な組織運営を図る。					今後の方針	維持

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
学校運営費		継続	6			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課	1:無			
事業概要	【運営費】 ・小中学校運営の支援 ・特色ある学校運営を推進するための補助金の交付 ・教職員の資質向上を図るための補助金の交付 ・小中学校の給食食材の放射性物質測定の実施と結果の公表 ・小学校の英語教科化に伴う効果的な英語教育の実践と中学校の英語教育との連携を強化する取り組みを進める					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	52,102 千円	51,773 千円	50,786 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	1,350 千円	1,682 千円	3,233 千円	
		一般財源	50,752 千円	50,091 千円	47,553 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	「自分の考えを深めることが出来た」と答えた児童の割合		%	計画 76	77	78
				実績 76.7	-	77.7
	「お互いの意見を生かし解決方法を決める」と答えた生徒の割合		%	計画 61	62	63
				実績 61.9	-	72.1
令和3年度 実績			特記事項			
・学校における働き方改革の取り組みの一つとして、学校の業後の電話を自動音声に切り替えることで、教職員の電話対応による負担を軽減した。・小諸市教頭会において、各学校のレポート発表を行い、各学校で情報共有を図った。・小諸英語教育推進委員会として、英語教育指導主事、小・中学校から推薦された教員、ALT(英語指導助手)が定期的な会議を開催し、新学習指導要領への対応について情報共有を図った。			・令和4年度から、会計年度任用職員人件費を学校運営費人件費へ移行。 ・給食食材の放射性物質検査は、検査開始以来10年間、国の基準を超える検体の検出はなく、本市独自の測定基準でも直近2年間「不検出」となっていることから、令和3年度をもって廃止とした。			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
・働き方改革推進検討委員会の提言書に基づき、「学校」、「教育委員会」、「保護者」がそれぞれ取り組むものを明確化し、可能なものから実施していく。定期的に振り返りを行い、成果が出ないものについては検討のうえ取り組み方法を変更し、実施していく。 ・学校の業後の電話を自動音声に切り替え、教職員の電話対応を軽減する取組を継続していく。 ・新学習指導要領への対応に差が無いよう、小諸市英語教育推進委員会において、共通した指導方法を検討する。					今後の方針	維持

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
長期学校改築計画策定事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課	2:有			
事業概要	市内小中学校のあり方について、小諸市長期学校改築検討会において「たたき台」を作成し、小諸市学校教育審議会の答申を受け、さらに検討を加え「小諸市長期学校改築計画」を策定する。					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	7,307 千円	5,600 千円	207 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	7,307 千円	5,600 千円	207 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	審議会の開催	回	計画	12	12	5
			実績	11	8	2
	長期学校改築計画説明会(市民懇談会)の開催	回	計画	—	—	10
実績			—	—	2	
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・答申の市民説明会の実施。 ・答申を受けて小諸市教育委員会で小諸市学校再編基本構想(案)を策定。 ・コロナ禍において動画による基本構想(案)の市民説明会を実施。 			審議会の答申市民説明会を5月に同日2回開催。当初各校区で実施予定であった学校再編基本構想案の市民説明会については、新型コロナウイルスの感染が拡大していたため動画に切り替えて実施。 令和4年度には、対面による市民説明会を一つの会場に集約する形で実施することとした。			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
①小諸市学校再編計画の策定に向けて、検討組織の立ち上げ、検討を実施する。 ②小諸市学校再編計画(案)を策定する。					今後の方針	維持

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
小学校管理費運営費		継続	7			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無			
事業概要	【運営費】 ・小学校の管理・運営 ・会計年度任用職員の任用 ・関係団体・事業への負担金交付 ・傷害保険の給付 ・小学校における児童・教職員を対象とした各種検診・検査の実施					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	146,077 千円	130,133 千円	135,966 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	29 千円	4,531 千円	1,970 千円	
		一般財源	146,048 千円	125,602 千円	133,996 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	災害共済給付金の申請件数	件	計画	250	240	230
			実績	242	187	185
			計画			
実績						
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校でCRT検査(学力検査)及びQU検査・ハイパーQU検査(児童の学校生活意欲、学級満足度の調査)を目標どおり実施した。 ・養護補助員を事務局へ1名配置し、学校との連絡、連携を密に行い、事案の早期把握に努めた。給付件数185件 ・ストレスチェックは法で定める対象学校(1校)を実施した。 			・令和4年度から、会計年度任用職員人件費を小学校管理費人件費へ移行。			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
標準学力調査のCRT検査を実施することにより、「基礎的・基本的な学力」が測定でき、学校において指導のあり方を工夫・改善していくことにつながる。あわせて、日常の観察だけではどうしても気づけない子どもの内面部分や、大人からすると意外な感情を抱いている子どもたちの、教師の観察と子どもの実態のズレを補うQUテストを実施することにより、「学級満足度」「学校生活意欲度」などの分析から、学級運営や授業を工夫することが出来るようになるため、校長会等において、検査の必要性を周知していく。					今後の方針	維持

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位					
小学校施設維持管理事業		継続	3					
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項					
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無					
事業概要	・小学校施設を維持管理するための保守点検、修繕、営繕工事など							
	投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
		年度別事業費	362,475 千円		276,680 千円		103,184 千円	
		国・県支出金	58,300 千円		55,190 千円		17,414 千円	
		地方債	116,500 千円		0 千円		18,140 千円	
特定財源	0 千円		0 千円		0 千円			
一般財源	187,675 千円		221,490 千円		67,630 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	施設の長寿命化に繋がる改修件数		件	計画	1	1	1	
				実績	0	0	0	
	令和3年度 実績		特記事項					
<ul style="list-style-type: none"> 職員室及び給食室に空調設備を設置。 けがの多かった美南ガ丘小学校渡り廊下の改修を実施。 命、けがに関わる工事を優先的に実施。 								
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 保守点検等により修繕の必要なものについては緊急性の高いものから実施していく。 理科室などの使用率と必要性の高い部屋について、冷房設備の設置を検討する。 						今後の方針	維持	

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位					
小学校給食運営事業		継続	15					
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項					
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課	2:有					
事業概要	自校方式で学校給食を提供する							
	投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
		年度別事業費	61,019 千円		69,273 千円		65,320 千円	
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円	
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円	
特定財源	0 千円		0 千円		0 千円			
一般財源	61,019 千円		69,273 千円		65,320 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	一人当たりの給食残食量(g/年)		g	計画	750	700	650	
				実績	640	900	1,180	
	令和3年度 実績		特記事項					
<ul style="list-style-type: none"> 学校給食協議会を通じ、各学校の取組をそれぞれのPTAと情報共有した。 調理主任会、衛生責任者会、栄養士会で、各校の取組状況を共有し、マニュアル改定整備の検討を行った。 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学級閉鎖、臨時休業となり残食量が増加した。 		<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度から、会計年度任用職員人件費を小学校管理費人件費へ移行。 						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>栄養士、調理主任、衛生責任者、給食調理員がそれぞれの取組を共有するとともに、衛生マニュアル等の検証及び適宜改定等を行う。</p>						今後の方針	維持	

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
小学校教育振興支援事業		継続	18			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費		学校教育課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離通学児童の保護者に対する補助金の交付 ・要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給 ・特別支援教室に通う児童の保護者に対する就学奨励費の支給 ・小学校低学年時の学習習慣形成と集団生活の中での生活習慣の形成 ・小学校の理科教育備品の整備 ・「きらら会」による小学5年生を対象とした体験授業の開催 					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	35,804 千円	33,193 千円	36,173 千円	
		地方債	1,102 千円	1,054 千円	1,121 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		34,702 千円	32,139 千円	35,052 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	支援教員への研修回数	回	計画	4	4	5
				実績	4	2
			計画			
実績						
	令和3年度 実績			特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・理科教育振興のため、補助金を活用し教材備品が各校均等となるよう備品の整備を行った。 ・就学援助費を認定した家庭へ適切に支給することができた。 ・支援教員研修は、配慮が必要な児童の学習指導方法を研究し、実践した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から、会計年度任用職員人件費を小学校管理費人件費へ移行。 			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽体験授業については、学校からの評価が高いため継続していく。 ・理科教育備品については、学校ニーズを把握したうえで、通常予算では購入が難しい高額なものを優先に購入していく。 ・就学援助費については、引き続き複数の職員による支給要件や支給金額の確認を行い、支給を行う。 ・支援教員の指導力向上を図るため、指導主事による助言を行うほか、研修会を開催する。 					今後の方針	維持

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
小学校ICT教育推進事業		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費		学校教育課	2:有			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台のパソコンを活用した情報教育の推進と環境の整備 					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	10,981 千円	21,371 千円	9,605 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		10,981 千円	21,371 千円	9,605 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	パソコンを活用した授業時間の割合	%	計画	—	5	10
				実績	0	5
			計画			
実績						
	令和3年度 実績			特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア選定のためのトライアルを開始。 ・クローズド持ち帰り学習の実施。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・情報端末を活用した授業の実施について、学校間の格差が出ないように計画的に進める。 ・教員のスキルアップのため、研修の充実を図る。 					今後の方針	維持

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
中学校管理費運営費		継続	8			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無			
事業概要	【運営費】					
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の管理・運営 ・会計年度任用職員の任用 ・関係団体・事業への負担金交付 ・傷害保険の給付 ・中学校における生徒・教職員を対象とした各種検診・検査の実施 					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	59,879 千円	70,179 千円	63,499 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	1,273 千円	1,518 千円	654 千円	
一般財源		58,606 千円	68,661 千円	62,845 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	災害共済給付金の申請件数	件	計画	250	240	230
			実績	229	129	147
			計画			
実績						
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの把握、意識を高めるため、学期毎に「いじめアンケート」を実施し、担任が個別に話を聞き、学年主任等と共有を図った。 ・養護補助員を事務局へ1名配置し、学校との連絡、連携を密に行い、事案の早期把握に努めた。給付件数147件 ・ストレスチェックは、法で定める対象学校(1校)を実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から、会計年度任用職員人件費を中学校管理費人件費へ移行。 			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> ・備品の管理を含め、適切な予算執行を行う。 ・日常の観察だけではどうしても気づけない子どもの内面部分や、大人からすると意外な感情を抱いている子どもたちの、教師の観察と子どもの実態のズレを補うQUテストを実施することにより、「学級満足度」「学校生活意欲度」などの分析から、学級運営や授業を工夫することが出来るようになるため、校長会等において、検査の必要性を周知していく。 						

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
中学校施設維持管理事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無			
事業概要	・中学校施設を維持するための保守点検、修繕、営繕工事など					
	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
投入指標	特定財源	国・県支出金	172,269 千円	262,410 千円	211,139 千円	
		地方債	27,342 千円	57,016 千円	81,762 千円	
		その他	53,900 千円	40,881 千円	88,900 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		91,027 千円	164,513 千円	40,477 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	施設の長寿命化に繋がる改修件数	件	計画	1	1	1
			実績	1	1	1
			計画			
実績						
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・小諸東中北校舎東側の大規模改修工事を実施。 ・学年室に空調設備を設置。 ・必要に応じて補修工事を実施。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> ・保守点検等により修繕の必要なものについては緊急性の高いものから実施していく。 ・建設後概ね30年が経過する小諸東中学校の長寿命化のための改修工事を複数年で計画的に実施する。 ・理科室などの使用率と必要性の高い部屋について、冷房設備の設置を検討する。 						

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
中学校給食運営事業		継続		16			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課		2:有			
事業概要	自校方式で学校給食を提供する						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	国・県支出金		22,623 千円	32,096 千円	32,525 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		22,623 千円	32,096 千円	32,525 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	一人当たりの給食残食量(g/年)		g	計画	450	400	350
				実績	340	510	510
				計画			
実績							
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食協議会を通じ、各学校の取組をそれぞれのPTAと情報共有を図った。 ・調理主任会、衛生責任者会、栄養士会で、各校の取組状況を共有しマニュアル改定整備の検討を行った。 			<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から、会計年度任用職員人件費を中学校管理費人件費へ移行。 				
目標の実現に向けた今後の取り組み							
栄養士、調理主任、衛生責任者、給食調理員の取組みを共有するとともに、衛生マニュアル等の検証及び適宜改定を行う。					今後の方針	維持	

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
中学校教育振興支援事業		継続		19			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の外部指導者として市内の人材を活用した際の当該指導者に対する謝礼の支払い ・中学校の理科教育備品の整備 ・遠距離通学生徒の保護者に対する補助金の交付 ・要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給 ・特別支援教室に通う生徒の保護者に対する就学奨励費の支給 ・アメリカ合衆国ミシガン州ホランドのホープカレッジへの中学生の派遣 						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	国・県支出金		21,558 千円	17,947 千円	19,674 千円		
	特定財源	国・県支出金	1,523 千円	1,155 千円	1,673 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		20,035 千円	16,792 千円	18,001 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	英語指導として、英語で発表する言語活動をした割合		%	計画	50	75	100
				実績	50	-	100
	支援教員への研修回数		回	計画	4	4	5
実績				4	2	3	
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・理科教育振興のため、補助金を活用し教材備品が各校均等となるよう備品の整備を行った。 ・部活動指導員4名を雇用し、部活動支援を行うとともに、部活動顧問の負担軽減を図った。 ・就学援助費を認定した家庭に適切に支給することができた。 ・英語指導主事が作成したカリキュラムにより授業を展開した。イングリッシュセミナー及び海外派遣については、新型コロナウイルスの感染拡大により実施できなかった。 			<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から、会計年度任用職員人件費を中学校管理費人件費へ移行。 				
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の抱える課題については、各校のニーズを踏まえ、関係課と連携して検討していく。 ・理科教育備品については、補助要綱に基づき適正に購入を行う。 ・就学援助費については、引き続き複数の職員による支給要件や支給金額の確認を行い、適切な支給を行う。 					今後の方針	維持	

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
中学校ICT教育推進事業		継続	4				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・3中学校費・2教育振興費		学校教育課	1:無				
事業概要	・1人1台のパソコンを活用した情報教育の推進と環境の整備						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		9,956 千円	27,012 千円	4,867 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		9,956 千円	27,012 千円	4,867 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	パソコンを活用した授業時間の割合		%	計画	—	10	20
				実績	—	5	17
				計画			
				実績			
令和3年度 実績		特記事項					
・ソフトウェア選定のためのトライアルを開始。							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
情報端末を活用した授業の実施について、学校間の格差が出ないように計画的に進める。教員のスキルアップのため、研修の実施について検討する。							

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
奨学費運営費		継続	23				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無				
事業概要	・小諸市奨学金審査会の運営 ・小諸市大津秀子奨学基金、小諸市あさま奨学基金の運用管理						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		24 千円	48 千円	25 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	24 千円	52 千円	25 千円		
一般財源		0 千円	-4 千円	0 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計画			
				実績			
				計画			
				実績			
令和3年度 実績		特記事項					
中学校、高等学校への募集案内送付及びホームページ掲載による周知を図った。審査会のための準備をし、円滑に会を実施した。							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
ホームページ、中学校、市内在住者が在籍する高等学校へ募集案内を送付し、制度の周知を引き続き行う。							

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
奨学費貸付事業		継続	-			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無			
事業概要	小諸市大津秀子奨学金の貸付と返済受納					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	6,060 千円	5,520 千円	4,980 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	6,060 千円	5,520 千円	4,980 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
				計画		
				実績		
				計画		
			実績			
令和3年度 実績			特記事項			
・15名への貸付を行い、償還金については滞ることなく受納した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
ホームページ、中学校、市内在住者が在籍する高等学校へ募集案内を送付し、制度の周知を引き続き行う。						

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
奨学費給付事業		継続	21			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無			
事業概要	小諸市あさま奨学金の給付					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	960 千円	960 千円	2,720 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	960 千円	960 千円	2,720 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
				計画		
				実績		
				計画		
			実績			
令和3年度 実績			特記事項			
・6名に奨学金を給付した。			令和2年度2名、令和3年度より4名追加。			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
ホームページ、中学校、市内在住者が在籍する高等学校へ募集案内を送付し、制度の周知を引き続き行う。						

事務事業名				新規・継続
事務局給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費				学校教育課
投入指標			令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		130,838 千円	141,544 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		130,838 千円	141,544 千円	
事務事業名				新規・継続
GIGAスクール構想推進事業				新規
会計・款・項・目				所管課
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費				学校教育課
投入指標			令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		0 千円	0 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		0 千円	0 千円	
事務事業名				新規・継続
小学校管理費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費				学校教育課
投入指標			令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		81,696 千円	83,703 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		81,696 千円	83,703 千円	
事務事業名				新規・継続
中学校管理費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費				学校教育課
投入指標			令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		30,922 千円	30,814 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		30,922 千円	30,814 千円	

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-2	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

所 管	子ども育成課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

少子化、核家族化の進行や、地域の人と人とのつながりの希薄化、共働き家庭の増加など、子どもと子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化している。これに伴って、子育てに関するニーズが増大するとともに多様化が進み、その対応が求められている。

今後も少子化が進行する中、将来にわたってより良い保育環境が提供できるよう、ニーズにあった多様な保育の充実と、需要を満たす教育・保育施設の受け入れの確保、増加傾向にある特別な教育的ニーズのある子どもへの適切な支援、また社会問題となっている児童虐待の防止対策などが課題となっている。

◆方針

目的

家庭における子育ての負担や不安、孤立化を和らげ、安心して子育てができる環境づくりを、行政だけでなく、家庭ですべきこと、地域で支え合えることなど役割分担をしながら社会全体(みんな)で取り組む。

ファミリーサポートセンターや病児保育事業など多様な保育を充実するとともに、保育園においては、私立と連携しながら需要に対応する受け入れを確保し、また効率的に施設運営を継続するため、保育園の再配置計画の策定を進める。特別な教育的ニーズのある子どもに対しては、自立と社会参加に向けた支援を行う。児童虐待の対応においては、関係機関が連携して発生予防、早期発見、発生時の迅速な対応・支援を行う。

◆令和3年度重点方針と目標

・統合新保育園の建設をスケジュール通り進め、令和4年4月に芦原と中央保育園からスムーズに移行し開園できるよう準備を進める。

・「病児病後児保育施設」を計画どおり複合型中心拠点誘導施設の開設時に開始する。

・「ファミリーサポートセンター」は社会福祉協議会と連携し、複合型中心拠点誘導施設へ移設後も継続して会員の拡大・育成を進め事業の充実を図る。

・保育所給食の調理業務を委託業者へスムーズに移行し、適正に調理業務が実施されるよう進める。

・増加傾向にある特別な教育的ニーズのある子どもに対応できる教育相談体制を確保する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

①社会全体(みんな)の取り組みによって、安心して子育てができる環境が充実した状態。

②特別な教育的ニーズのある子どもが、周囲に理解されながら有効な支援をうけることにより、状況の改善や生活力の向上が図られ、より良い成長が促される状態。

③児童虐待においては、関係機関が児童等に関する情報や支援方針を共有し的確な対応を行うことにより、子どもが適切な養育を受けられる状態。

◆実績

令和3年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・統合新保育園の園舎建設工事を計画通り竣工。令和4年度の開園に向け、中央及び芦原保育園の閉園式を実施した。 ・病後病児保育施設「こもろスマイル園」を、複合型中心拠点誘導施設「こもテラス」の開設に合わせ開所した。 ・「ファミリーサポートセンター」の事務所を「こもテラス」に移転を行い、相談しやすい体制を整備した。 ・保育園給食調理業務の業者委託を実施。評価を行い、委託前と同様に安全、安心な給食の提供がなされていることを確認した。また、評価結果について広報等で公表した。 ・教育支援相談員の業務を見直し、増加している特別な教育ニーズのある子どもにも対応できるよう、教育相談体制の充実を図った。 	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	子育てしやすい環境づくりに対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	子どもが心身ともに健やかに育つために、安心して子育てができる環境が必要であるから。						
算式	市政への満足度(1)子育てしやすい環境づくり 満足+やや満足+普通の合計					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	55.8	計画	56.5	57	57.5	58	
		実績	55.2	59.3			
指標名	要保護児童対策地域協議会の進行管理ケースの中で支援が終了したケースの割合						
設定理由	児童虐待があった、またそのリスクの高い家庭を積極的に支援し、児童等の適切な養育につなげるため。						
算式	年度内の進行管理件数のうち、支援を終結した件数の割合					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	19	計画	20	20	20	20	
		実績	44	31			
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の中、将来にわたってより良い保育環境を維持するため、保育園の再配置計画の策定に着手する。 ・子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援の各種事業を進めながら、保護者の要望に応える事業がさらに充実するよう努める。 ・保育園給食の調理業務委託について適正に評価し、安心安全な心のこもった給食の提供を継続する。 ・支援が必要な子どもを早期に発見し、専門的な教育相談が受けられるよう医療、保健、福祉との連携を深める。また保育園や学校での生活において必要な支援を効果的、効率的に実施するとともに、そこに携わる指導者の資質向上に努める。 ・児童虐待の発生予防、早期発見、発生時の迅速・的確な対応を行うための関係機関との連携を強化する。 ・学校、家庭、教育支援センターと連携し、不登校の防止と改善に向けた支援を継続的に進める。

◆個別計画

教育振興基本計画／子ども・子育て支援事業計画／地域福祉計画・地域福祉活動計画

◆特記事項

--

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
保育所運営事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	2:有			
事業概要	保護者の就労等により、保育が必要な子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、養護の行き届いた環境を整え、公立保育園を運営する。					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	358,985 千円	352,224 千円	358,397 千円	
		地方債	1,462 千円	670 千円	3,866 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	27,724 千円	62,116 千円	25,427 千円	
一般財源		329,799 千円	289,438 千円	329,104 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	待機児童数	人	計画	0	0	0
			実績	0	0	0
			計画			
実績						
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援事業計画に沿った事業等を実施した。 施設の修繕や維持管理等による安全対策を実施した。また、避難訓練等を実施し、園児の安全確保に取組んだ。 給食調理業務の民間委託を円滑に行い、半期ごとに委託仕様書等に準じて、適正に給食の運営がされているかの評価を実施した。 施設の消毒やマスクの着用等の感染対策に取組んだ。また、感染拡大状況により、感染リスク回避のために登園自粛要請を行った。 			保育所の運営について、施設の老朽化や統廃合、民営化などの検討が必要 人口減少の中、女性の就業率の向上や産後早い段階での職場復帰、コロナによる就業や求職など3歳未満児の入所ニーズが増えて、一層の保育士不足が懸念される。			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> 子ども子育て支援事業計画に沿った事業を実施する。 施設の維持管理や修繕による安全対策を実施する。また、不審者マニュアルの作成等、園児の安全確保に取組む。 保育園給食委託後も質の高い給食の提供やその運営体制を確保するため、事業者の評価を実施する。 保育園ICT化により、保護者の利便性の向上と保育士の業務効率化を図る。 					今後の方針	維持

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
子ども・子育て支援事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	2:有			
事業概要	子どもの成長支援・子育て世帯への支援の総合的な展開を「子ども・子育て支援新制度」により図る。就労前の子育て支援に関係する事業(私立保育園、認定こども園、家庭的保育事業等)を統合的に所管し、新制度による認定給付システムの運用をスムーズに実施する。					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	353,708 千円	653,333 千円	627,668 千円	
		地方債	233,917 千円	572,516 千円	394,031 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	13,753 千円	14,752 千円	15,252 千円	
一般財源		106,038 千円	66,065 千円	218,385 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	新制度利用の申請率	%	計画	100	100	100
			実績	100	100	100
			計画	0	0	0
実績			0	0	0	
待機児童数	人	計画	0	0	0	
		実績	0	0	0	
		計画				
		実績				
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援事業計画に沿って、事業等を確実に実施した。 病児・病後児保育事業について、関係者との連携を図り、複合施設内において事業を開始した。また、開設後は適切な運営が行われるよう連絡、調整に努めた。 ファミリーサポート事業を複合施設内へ移転し、市民ニーズを捉えた事業展開を行うための会議等を開催し連携を図った。 各種補助事業等について適切に事務を行った。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> 病児病後児保育事業について、適切な運営が行われるよう、事業者と連携を図る。 ファミリーサポートセンター事業について、受託事業者と協議しながら、事業のPRやマッチングの充実を図る 第二期小諸市子ども子育て支援事業計画による子育て施策を進める。また進行管理を行いながら、必要に応じて計画の見直し修正を行う。 					今後の方針	維持

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
保育所建設事業		継続		10			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課		2:有			
事業概要	現在7園ある公立保育園の中でも、建設から約40年が経過し、老朽化が著しく進行している「芦原保育園」と「中央保育園」について、将来的な子どもの減少及び効率的な保育園運営のため、利用していない南城公園50mプールの場所に統合園を建設する。						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		2,139 千円	36,171 千円	512,052 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	444,400 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		2,139 千円	36,171 千円	67,652 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	待機児童数		人	計画	0	0	0
				実績	0	0	0
				計画			
実績							
令和3年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・新保育園の園舎建設工事を実施し、令和4年度開園した。 ・開園に向け、市民から名称を募集する等の情報発信を行った。また、内覧会を実施した。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
中央保育園・芦原保育園の後利用を検討し、必要な対応を実施する。					今後の方針	縮小	

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
私立幼稚園補助事業		継続		9			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		子ども育成課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園運営補助金の交付 ・私立幼稚園保護者への幼児教育保育無償化に伴う保育料等の交付 						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		126,736 千円	215,207 千円	76,764 千円		
	特定財源	国・県支出金	114,008 千円	149,789 千円	56,421 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		12,728 千円	65,418 千円	20,343 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	該当件数に対する補助金交付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
				計画			
実績							
令和3年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・適正に補助金を交付することができた。 ・公私の施設間において、連携や協議を行い、調整することができた。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
市内の子どもの約6割を保育している私立幼稚園の適正な運営を確保するため、幼児教育保育無償化による保育料等を適切に交付する。認定こども園等が実施する改築工事等が実施される場合は、適切に補助金を交付し、対象施設へ通う幼児の教育・保育環境を整える。					今後の方針	縮小	

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
子どもセンター運営事業		継続		6			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の子育て環境の向上のため親子が安心して過ごすことのできる施設運営 ・子育てについて情報を発信し、必要な育児相談を日常的に実施 ・放課後の児童生徒の安全対策、健全育成のための施設運営 						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		22,331 千円		19,534 千円		
	特定財源	国・県支出金		3,235 千円		5,512 千円	
		地方債		0 千円		0 千円	
		その他		66 千円		16 千円	
一般財源		19,030 千円		13,962 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	出生届け時・小学校入学説明会での案内配布率		%	計画	100	100	
				実績	100	100	
	利用者数		人	計画	43,000	9,500	
実績				45,283	12,687		
令和3年度 実績				19,857			
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者がサービスを必要としたときに選択肢の一つとして検討できるよう、周知活動を実施した。 ・実施している施設サービス・事業などについて、現状を踏まえ、改善に取り組んだ。 ・新型コロナ対策として、利用人数の制限や消毒等の感染対策に取り組んだ。 ・コロナ禍のため、電話等での子育て相談を充実させた。 				特記事項			
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童個々の多様性に対応するため、職員の確保と共に、一人ひとりに寄り添うことのできる職員のスキルアップに努めていく。 ・乳児、保護者、児童等が安全に利用できるように、手洗いや消毒、マスクの着用など新型コロナウイルス感染症対策を徹底していく。 ・施設の点検や修繕などにより物理的な危険性の排除を行うとともに、人的な安全確保を実施し、利用者に安全な環境を提供する。 						今後の方針	維持

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
児童クラブ運営事業		継続		7			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、放課後の安全確保と、保護者に代わり健全な育成を図る施設の運営 						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		11,607 千円		11,991 千円		
	特定財源	国・県支出金		3,501 千円		5,278 千円	
		地方債		0 千円		0 千円	
		その他		2,703 千円		3,018 千円	
一般財源		5,403 千円		3,695 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	該当小学校における新入学児童の保護者説明会の実施割合		%	計画	100	100	
				実績	100	100	
				計画			
実績							
令和3年度 実績				100			
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども子育て支援事業計画に沿った運営を行った。 ・新型コロナ対策として、分散保育の実施やマスクの着用などの基本的な感染対策の徹底を図った。 ・人員配置や施設修繕などを行い、利用者に安全な環境を提供した。 				特記事項			
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童個々の多様性に対応するため、職員の確保と共に、一人ひとりに寄り添うことのできる職員のスキルアップに努めていく。 ・児童が安全に利用できるように、手洗いや消毒、マスクの着用など新型コロナウイルス感染症対策を徹底していく。 ・施設の点検や修繕などにより物理的な危険性の排除を行うとともに、人的な安全確保を実施し、利用者の安全な環境を提供する。 						今後の方針	維持

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
児童施設運営事業		継続	8				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課	1:無				
事業概要	・児童に健全な遊びを通して、その健康を増進し、情操を豊かにする児童館の運営						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	29,027 千円	29,165 千円	30,272 千円		
		地方債	3,501 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	2,703 千円	1,628 千円	1,873 千円		
一般財源		22,823 千円	27,537 千円	28,399 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	該当小学校の新入学児童に対する保護者説明会の実施割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
	利用者数		人	計画	100,000	80,000	80,000
実績				55,651	40,404	53,899	
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> 子ども子育て支援事業計画及び新制度に沿った施設運営を行った。 職員配置や施設修繕などを行い、利用者に安全な環境を提供した。 新型コロナウイルス対策として、分散保育の実施やマスク着用などの基本的な感染対策を徹底して、安全な運営を行った。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 児童個々の多様性に対応するため、職員の確保と共に、一人ひとりに寄り添うことのできる職員のスキルアップに努めていく。 児童等が安全に利用できるように、手洗いや消毒、マスクの着用など新型コロナウイルス感染症対策を徹底していく。 施設の点検や修繕などにより物理的な危険性の排除を行うとともに、人的な安全確保を実施し、利用者に安全な環境を提供する。 					今後の方針	維持	

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
子ども家庭支援事業		継続	3				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの福祉と権利擁護のため、子どもや家庭の相談対応を行なう。 要保護児童対策地域協議会の調整機関として、児童虐待防止および子どもの権利擁護のため関係機関と連携して子どもや家庭を支援する。 						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	2,367 千円	2,110 千円	2,248 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		2,367 千円	2,110 千円	2,248 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	家庭児童相談員の関わるハイリスク家庭の支援会議数		回	計画	24	24	10
				実績	7	4	3
				計画			
実績							
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> 様々な要因により養育環境が芳しくない家庭の相談対応や環境調整等の支援は、関係機関との連携により、多角的な視点をもって対応することができた。 児童虐待事案の対応にあたっての手順や関係機関との役割などを整理し、令和4年度からマニュアルとして運用を開始できるよう取りまとめを行った。 				活動指標の計画に対し実績が少ない理由は、ハイリスク家庭への対応が家庭児童相談員だけでなく社会福祉士もかかわることになったため。(活動指標はR4年度より変更)			
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 母子相談員・保健師・ケースワーカー等関係する支援者と共に支援家庭の訪問や相談を行ない、多面的な支援を継続していく。 幼稚園・保育園・小中学校・児童館との連携による情報共有を図り、必要に応じて支援会議や専門機関へ繋いでいく。 子ども家庭総合支援拠点の設置に向け、国・県等の動向を視野に入れながら関係者との協議を進める。 					今後の方針	拡充	

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
特別支援教育等推進事業		継続	4				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 配慮を要する児童・生徒への適切な就学指導及び教育的支援を行う。 学校運営を補助し、特別支援学級に在籍する児童生徒や配慮を要する児童生徒への支援を行うために支援員を配置する。 支援員や特別支援教育に関わる先生等のスキルアップや指導者となっていけるようにするため、研修や講演会等を実施する。 						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	38,078 千円	48,149 千円	39,237 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	38,078 千円	48,149 千円	39,237 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	支援員の配置数		数	計画	21	21	21
				実績	21	21	21
	校内支援委員会に教育委員会が関わった回数		回	計画	140	140	140
				実績	174	204	190
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な児童生徒の状況を把握し、学校と協議しながら支援員の効果的な配置を行った。 指導主事による日常的な相談対応や情報共有、また、研修会の開催等により、特別支援教育に係る教職員等のスキルアップを図った。 巡回訪問や特別支援教育コーディネーターとの連携により、就学相談から適切な学びの場の判断にスムーズにつながることができた。 			令和3年度から、特別支援教育等推進事業に就学指導支援事業を統合。 令和4年度から、会計年度任用職員人件費を子ども相談費人件費へ移行。				
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 多様な対応が必要な支援児童生徒が増える中、支援員が適切な支援を実践できるよう研修等を通じてスキルアップを図っていく。また、特別支援に特化した指導主事に日々相談できる体制もあるので、情報共有も含め連携していく。 支援員配置等について、支援が必要な児童生徒の状況を把握し、学校と協議を行い効果的な配置を行う。 幼稚園や保育園等と連携し、就学にあたり配慮が必要な子を早期に把握するとともに、保護者・学校・関係機関と連携し適切な支援が行える環境を整えて行く。 					今後の方針	維持	

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
教育支援センター等運営事業		継続	5				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 幼児、児童及び生徒に関する教育相談並びに不登校改善等の教育的支援を行なう。 支援の拠点となる教育支援センターを設置運営するとともに、中学生の集団不登校や不登校への支援のために不登校支援講師を学校に配置する。 						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	9,769 千円	8,990 千円	18,867 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	724 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	9,769 千円	8,990 千円	18,867 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	センター職員による相談訪問件数		回	計画	480	480	540
				実績	589	297	592
	中間教室に通室している児童生徒の在籍校等への復帰率		%	計画	20	20	20
				実績	16	40	16
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> 不登校の改善対応として、当該センターと学校が連携して支援を行うことにより、学校復帰や通級ができるようになった児童生徒がいた。 県の「不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業」の受託を通じて、不登校児童生徒の主体的な学びを支援する方策として、学校以外の学びの場として様々な活動体験の場を提供したり、それらに繋がるための家庭訪問などを実施した。 			令和4年度から、会計年度任用職員人件費を子ども相談費人件費へ移行。				
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 中間教室機能の強化として、通室している不登校児童生徒の学習・生活支援を行うとともに、中学校の不登校支援講師と連携を密にしながら、在籍校復帰への支援を行う。また、児童生徒の状況に応じて、登校復帰だけではない学びの継続支援のため、家庭及び学校等と連携を図りながら、家庭訪問や体験活動の提供などを通じて児童生徒本人の主体的な学びへつなげるための支援を行う。 集団生活への不適合等悩みを抱えている児童・生徒・保護者・担任等からの相談に応じ、教育的支援が受けられるよう関係機関と連携していく。 					今後の方針	維持	

事務事業名			新規・継続		
保育所費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費			子ども育成課		
投入 指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		年度別事業費	163,322 千円	155,914 千円	153,876 千円
	特定	国・県支出金	0 千円	0 千円	200 千円
	財	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	源	その他	82,456 千円	40,676 千円	47,017 千円
	一般財源	80,866 千円	115,238 千円	106,659 千円	

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-3	生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

図書館及び市民交流センターは開館以来多くの市民に利用いただいているが、文化センターは各施設とも利用者数が減少傾向で推移している。
文化センター、美術館、記念館における各種講座等の参加者数は安定しているが、参加者の裾野を広げていくことが課題である。
美術館・記念館等の生涯学習施設は経年劣化が進んでおり、施設全ての長寿命化を実施するためには、多額の費用を要する。

◆方針

目的
市民の主体的な「学び」を促進するため、魅力ある企画展や市民ニーズを踏まえた各種講座・教室を開催し、生涯学習の機会を創出する。併せて、市民が「学び」の成果を生かし、生きがいづくりにつながるような機会の創出を図る。 生涯学習施設については、各施設の老朽化等を踏まえ、今後のあり方を検討し、管理計画を策定する。 「音楽のまち・こもろ」を実現するため、作曲コンクールやミニコンサート等、まちじゅうに音楽があふれるよう事業の充実に取り組む。

◆令和3年度重点方針と目標

- ・市民ニーズを踏まえた各種講座や教室等の充実を図り、参加者が講座等で得た知識を地域で活かせるような取組を推進する。市民が、音楽の演奏・鑑賞をしやすい環境を整備する。
- ・生涯学習施設を快適に利用できるよう、長寿命化を含めた施設管理計画を策定する。
- ・作曲コンクールの応募数、ミニコンサートの鑑賞者数をそれぞれ増やす。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①市民が主体的に学び、自らを高め、学びの成果を地域で活かし、生きがいをもって生活している状態。 ②生涯学習施設が適切に管理・運営され、市民が芸術・文化にいつでもふれることができる状態。 ③市民が作曲コンクールやミニコンサートなどにより音楽にふれ、生き生きと暮らしている状態。

◆実績

令和3年度実績

- ・公民館、美術館、記念館、図書館などの生涯学習施設では、コロナ禍における基本的な感染症対策を講じながら、講座や教室、企画展、イベントなど、できる限り中止せずに開催した。
- ・生涯学習施設では、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、適切な管理運営に努めた。
- ・作曲コンクールは、小学生の部の最優秀賞受賞曲がグランプリを獲得した。また、毎月のミニコンサートはコロナ禍において7回の開催となった。
- ・今回の第28回小諸藤村文学賞から、小諸市民及び小諸市の中学校、高等学校で学んでいる生徒の作品のみを対象に、市長賞及び教育長賞を創設し、市民関係者からの応募者増につながった。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	文化・芸術を身近に感じている人の割合(市民意識調査)						
設定理由	文化・芸術を身近に感じている人の割合が高まれば、市民の主体的な「学び」が促進されていると考えられるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	—	計画	40	41	42	43	
		実績	31.9	36.2			
指標名	芸術・文化に親しむ機会の充実に対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	芸術・文化に親しむ機会の充実に対して満足と感じている人の割合が高くなれば、市民が芸術・文化にいつでもふれることができていると考えられるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	65	計画	68	70	73	75	
		実績	61.1	63.6			
指標名	ミニコンサートの鑑賞者数						
設定理由	ミニコンサートの鑑賞者数が多くなることにより、市民が音楽にふれ、生き生きと暮らすことができていると考えられるから。						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	727	計画	763	802	842	884	
		実績	317	450			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

- ・みんなの役に立つ図書館として、学習活動、市民活動、余暇活動の場と情報を提供する。
- ・市民ニーズを踏まえた魅力ある講座や教室、企画展、イベントなどを開催する。
- ・生涯学習施設を快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
- ・音楽のまちこもろの実現に向け、各種事業の充実を図る。
- ・生涯学習施設の老朽化を踏まえた長寿命化工事等の計画を策定する。

◆個別計画

教育振興基本計画／子ども読書活動推進計画

◆特記事項

--

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
社会教育総務費運営費		継続		18		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	出前講座の実施。社会教育委員会の開催。					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	国・県支出金		1,927 千円	1,602 千円	780 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	175 千円	151 千円	52 千円	
一般財源		1,752 千円	1,451 千円	728 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	社会教育委員連絡会開催回数	回	計画	4	4	4
			実績	3	1	1
	社会教育委員行事参加要請回数	回	計画	5	5	5
			実績	5	1	6
令和3年度 実績			特記事項			
<p>・出前講座を開催し、生涯学習の推進を図った。</p> <p>・社会教育委員連絡会において、新型コロナウイルスの影響で会議の開催が難しい中で、委員同士がメール等で連絡を取り、小諸市教育大綱・教育振興基本計画に係る意見等を取りまとめた。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<p>・新型コロナウイルス感染症の影響で会議が開催できない状況にあっても、社会教育委員から意見や提案をいただけるよう、社会教育委員長と連携を図り活動をサポートする。</p>						

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
小諸藤村文学賞事業		継続		12		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	「小諸・藤村文学賞」の作品募集、審査、表彰など （「小諸藤村文学賞」は、平成4年に、藤村生誕120年、没後50年を記念して創設された。作品の応募は、日本全国からにとどまらず海外からの応募もある。）					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	国・県支出金		5,636 千円	5,380 千円	5,343 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	141 千円	
一般財源		5,636 千円	5,380 千円	5,202 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	一般応募者数	人	計画	1,000	1,000	1,000
			実績	759	793	707
	市内中高生応募者数	人	計画	—	—	40
			実績	—	—	123
令和3年度 実績			特記事項			
<p>・第28回小諸藤村文学賞の応募者総数は2,626人で、全国各地から応募があった。</p> <p>・第27回小諸藤村文学賞は、6月20日に本選考、8月21日に表彰式をオンラインで開催した。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<p>・インターネットの公募サイトのほか、SNSを使い全国に応募を呼びかける。</p> <p>・市民対象の市長賞、教育長賞を含めた事業内容及び入選作品の紹介を市民に向けて行う。</p>						

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
成人式開催事業		継続		17			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	伝統儀式「成人式」の新成人(実行委員会)による自主的運営を支援していく環境づくり。						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		407 千円		527 千円		
	特定財源	国・県支出金		0 千円		0 千円	
		地方債		0 千円		0 千円	
		その他		0 千円		0 千円	
一般財源		407 千円		527 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	成人式の参加率		%	計画	75	75	75
				実績	75	39.2	未確定
				計画			
実績							
令和3年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・再延期となった令和3年(2年度)成人式を令和4年1月3日に開催した。 ・令和4年(3年度)成人式は、新成人対象者の有志7人による実行委員会を組織し、式典を企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和5年1月3日に延期した。 ・社会教育委員からの意見や他市の状況等を踏まえ、成人年齢引下げ後も20歳を対象に式典を開催する方針を決定した。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み				今後の方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染防止対策を前提とした上で、実行委員による企画運営を行う。 ・SNSを活用し、市外居住の対象者への情報発信を行う。 				維持			

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
史料館等管理事業		継続		15			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	史料館等の運営、維持管理を行う。						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		7,873 千円		6,470 千円		
	特定財源	国・県支出金		0 千円		0 千円	
		地方債		0 千円		0 千円	
		その他		97 千円		50 千円	
一般財源		7,776 千円		6,420 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	古文書の目録作成件数(累計)		冊	計画	4	5	6
				実績	4	5	6
	古文書学習講座の参加人数		人	計画	-	450	500
実績				398	282	303	
令和3年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・古文書調査室において、旧家等の古文書の調査研究を行うとともに、市民を対象に古文書学習講座を開催し、延べ303名の参加があった。 ・古文書調査室において、脇本陣や浅間山登山と奨励会等に関する展示を行った。 ・市役所1階展示情報コーナーの一角において、ふるさと遺産に係る展示を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・活動指標に「古文書学習講座の参加延べ人数」を追加した(R2年度～) 			
目標の実現に向けた今後の取り組み				今後の方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・古文書調査室、広報こもろ等により、古文書史・資料の調査の結果を公開する。 				維持			

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
青少年育成補導推進事業		継続		14			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	青少年の健全な成長の啓発及び地域での活動支援として、各地域や小中学校における事業の支援を行うほか、青少年の非行防止のための巡回活動、有害環境の排除を行う。						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		4,173 千円		3,709 千円		
	特定財源	国・県支出金		0 千円		0 千円	
		地方債		0 千円		0 千円	
		その他		0 千円		0 千円	
一般財源		4,173 千円		3,709 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	公募による青少年補導委員		人	計画	4	4	5
				実績	3	2	3
	信州型コミュニティスクール推進事業交付金を活用した学校の数		校	計画	8	8	8
実績				8	8	8	
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、街頭啓発活動等の多くの活動が中止となったが、感染防止対策をとりながらセンター補導(1回)や支部補導を実施した。 信州型コミュニティスクール推進事業を市内全小中学校で実施した。 			青少年健全育成都市宣言に関する決議(平成9年3月21日)				
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 信州型コミュニティ・スクール事業の充実のため、他自治体の先進的な取組例を参考に事業のあり方を検討する。 					今後の方針	維持	

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
音楽のまち・こもろ推進事業		継続		1			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		2:有			
事業概要	まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」をめざして、作曲コンクールやミニコンサートのほか各種事業を推進する。						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		2,273 千円		2,777 千円		
	特定財源	国・県支出金		0 千円		0 千円	
		地方債		0 千円		0 千円	
		その他		0 千円		0 千円	
一般財源		2,273 千円		2,777 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	音楽のまち・こもろ作曲コンクールの応募件数		件	計画	50	50	50
				実績	25	181	183
	ミニコンサートの開催回数		回	計画	12	7	12
実績				10	5	7	
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> 第5回「音楽のまち・こもろ作曲コンクール」を開催し、11月14日に表彰式を行った。 グランプリ作品をタ方の防災行政無線のサインメロディーに採用した。 ミニコンサートは、新型コロナウイルス感染症の影響により5回が中止となったが、感染防止対策をとりながら7回開催した。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 作曲コンクールの応募作品数を増やすため、作曲に関するセミナーを開催する。 小中学校の音楽部活等へ専門講師を派遣する。 事業をさらに推進するため、音楽関係団体(個人)のネットワーク作りを支援する。 					今後の方針	維持	

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
図書館運営事業		継続		4			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・2図書館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	市立小諸図書館の基本理念「みんなの役に立ちます」と5つの基本方針に則った公共図書館の運営						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	69,839 千円	68,857 千円	56,360 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	1,751 千円	2,716 千円	79 千円		
一般財源		68,088 千円	66,141 千円	56,281 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	来館者数		人	計画	210,000	210,000	210,000
				実績	236,513	124,798	158,985
	資料貸出し数		冊	計画	254,000	254,000	254,000
				実績	267,527	202,973	256,487
令和3年度 実績			特記事項				
<p>・毎月開催する月例会を中心に、委託業務の実施状況、実施予定等の把握、課題の協議等を行い、業務を管理した。</p> <p>・各課と連携した企画・展示のほか、佐久医療センターの出張がん相談、県教育委員会東信教育事務所の教科書展示など、多くの機関や団体との連携による企画を実施した。</p> <p>・子どもの読書活動を推進するため、市内小中学校司書会への参加や小学校、幼稚園、児童館への出張おはなし会、読み聞かせボランティアの受入れ等、関係機関等と連携した取組を行った。</p>							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<p>・図書館業務の受託者が適正な業務を実施するよう、実施状況等の確認、協議等を行う。</p> <p>・市役所各課や関係機関、団体と連携し、市民から必要とされる情報を提供する。</p>							

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
公民館運営事業		継続		11			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	趣味や教養を高める学習とともに、地域課題に直結する学習と実践を支援する施設として、施設の維持管理を行う。						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	12,356 千円	10,056 千円	7,079 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	1,198 千円	552 千円	949 千円		
一般財源		11,158 千円	9,504 千円	6,130 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	公民館運営審議会の開催回数		回	計画	1	2	2
				実績	1	2	1
	こもろ女性の家運営委員会開催回数		回	計画	1	2	1
				実績	1	2	1
令和3年度 実績			特記事項				
<p>・コロナ禍において、公民館利用者数は対前年度比105.5%であった。こもろ女性の家は、対前年度比123.6%となった。利用者の復調の兆しが見られる。災害時の住民受入れについては、8/23(月)に乙女湖体育館で避難所開設訓練が行なわれ、職員が参加した。</p>							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<p>・利用者の利便を図るよう、特に、高齢者や障がいのある方がより良く利用しやすいように、公民館を運営、維持管理する。</p> <p>・下足での入館試行を重ね、検討、研究を進め結論を出す。</p> <p>・災害時の住民受入れ対応のための施設整備は、関係各課と調整、研究を進めていく。</p>							

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
公民館報発行事業		継続		16		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	広報こもろと併せた公民館報を編集し、発行する。					
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	年度別事業費		2,628 千円	2,614 千円	2,770 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		2,628 千円	2,614 千円	2,770 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	公民館報の発行回数	回	計画	12	12	12
			実績	12	12	12
			計画			
		実績				
令和3年度 実績				特記事項		
<p>・「人ひと」「わたしの宝物」など地域の皆さんを紹介するコーナーを増やし、身近な広報誌となるように工夫した。</p> <p>・読みやすい紙面、読みたくなるような内容となるよう館報編集委員会で検討した。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<p>・公民館活動が年間にわたって、いつ、どこで、何の事業等を開催するのかわかりやすく市民に伝える創意工夫を引き続き行う。</p> <p>・紙面構成について、館報編集委員会で協議、研究、検討の上、多くの市民に読まれ親しまれる館報となるようにする。</p> <p>・館報の内容について、正確でわかりやすいものとなるようにする。</p> <p>・館報掲載内容やあり方について、館報編集委員会で研究していく。</p>					今後の方針	維持

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
支館・分館支援事業		継続		13		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	公民館支館・分館が身近な学習の拠点として、地域の課題解決や担い手の育成など、地域活性化・まちづくりや地域防災につながる住民の主体的な学習と活動の支援。また、他の支館・分館活動の情報交換。					
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	年度別事業費		6,089 千円	5,837 千円	5,539 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		6,089 千円	5,837 千円	5,539 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	公民館役員研修会	回	計画	3	3	3
			実績	3	1	1
			計画			
		実績				
令和3年度 実績				特記事項		
<p>・公民館関係役員研修会は、コロナ禍で1回のみ開催となった。内容は「コロナ禍でもできる避難所開設・運営とは」。講師は防災ネットしもすわ会長の高橋敦子さんで、防災士と理学療法士の資格をもった先生。参加者は、99名。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<p>・公民館関係役員研修会では、各支館・分館活動事例発表を行い、他の公民館活動内容を傾聴することにより分館等活動の活発化の一助、参考刺激となるようにする。</p> <p>・支館・分館のそれぞれの地域課題解決につながり、その運営、活動が活性化するための「小諸市公民館モデル事業 地域課題解決に向けてつどい・まなぶ 公民館事業」が、しっかり実施できるように側面的支援を行う。</p>					今後の方針	維持

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
学級・講座等開催事業		継続		3			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要 ・各種学級・講座等の開催 ・自主学習グループの育成指導等							
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	国・県支出金		2,404 千円	1,491 千円	803 千円		
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円		
	その他		0 千円	0 千円	0 千円		
	一般財源		2,404 千円	1,491 千円	803 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	公民館の講座参加者数		人	計画	1,000	1,000	1,000
				実績	1,019	779	530
	公民館の講座数		回	計画	170	170	170
実績				162	79	78	
令和3年度 実績				特記事項			
・コロナ禍において、できるだけ感染状況を見ながら講座を開催した。 ・講座を開催するにあたり、参加者が密にならないよう、参加者の分散化を図った。							
目標の実現に向けた今後の取り組み ・学級・講座終了時にアンケート等を集約し、市民のニーズを把握し、学級・講座等を開催する。 ・こもろ女性の家の自主講座では、引き続き保育士を配置し、託児の希望に応え講座に参加しやすい環境を整える。							
				今後の方針	維持		

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
文化センター運営事業		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・4文化センター費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要 文化会館等施設環境の整備をする。 市民文化の向上と文化振興を図るため、自主事業を開催する。また、貸館で、利用者の利便を図る。							
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	国・県支出金		45,462 千円	21,587 千円	145,142 千円		
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円		
	その他		0 千円	0 千円	100,200 千円		
	一般財源		5,372 千円	1,889 千円	3,594 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	長寿命化工事力所		箇所	計画	3	1	1
				実績	3	1	3
	自主公演事業開催回数		回	計画	3	3	3
実績				0	0	1	
令和3年度 実績				特記事項			
・ホールの舞台機構等の改修、吊り物等の改修を実施した。 ・ロビー、ホワイエ、楽屋のじゅうたんを改修した。 ・ホールのトイレ、楽屋のトイレ等を改修した。 ・コロナ禍において、文化会館自主事業は市民音楽祭の開催のみであった。 ・「音楽のまち・こもろ」を実現するため、市民音楽祭は、無観客でCTK録画のみで5団体の出演で実施した。							
昭和59年に文化会館が建設され開館38年以上経ているが、当館ホール舞台機構設備の一式の吊物ワイヤーロープ、制御盤・操作盤等の耐用年数が過ぎ経年劣化が著しいので更新・改修を進め、安全で快適な設備環境を整える。なお、1期目は、令和元年度に工事を行なった。2期目として令和3年度実施済。							
目標の実現に向けた今後の取り組み ・ホールの吊り物等の改修に向けて、計画的に設計等を進め安心して使用できるようにしていく。 ・市民ニーズに応えられるような事業(貸館事業・自主事業)を開催する。そして、市民音楽祭や自主事業をとおして、市民の文化水準の向上に寄与するように、また、「音楽のまちこもろ」として定着していくように実施していく。							
				今後の方針	維持		

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
小山敬三美術館運営事業		継続		5			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	小山敬三美術館の運営・維持管理 (選び抜かれた作品を集め、長く安全に保管することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知ってもらう。)						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	17,248 千円	28,797 千円	16,255 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	3,426 千円	447 千円	2,270 千円		
一般財源		13,822 千円	28,350 千円	13,985 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	入館者数		人	計画	22,000	22,000	22,000
				実績	19,378	10,377	11,994
				計画			
			実績				
令和3年度 実績				特記事項			
・新型コロナウイルス感染症の影響により写生会を中止したが、感染予防対策をとりながら企画展、美術講演会、公募展等を開催した。							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
・魅力ある自主事業を企画し、市内外に向け情報発信を強化する。							

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
高原美術館・白鳥映雪館運営事業		継続		7			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	高原美術館・白鳥映雪館の運営・維持管理 (選び抜かれた作品を集め、長く安全に保管・展示することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知らせる。)						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	22,261 千円	20,817 千円	22,677 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	1,830 千円	1,767 千円	1,064 千円		
一般財源		20,431 千円	19,050 千円	21,613 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	入館者数		人	計画	10,000	10,000	14,000
				実績	13,703	10,228	14,145
				計画			
			実績				
令和3年度 実績				特記事項			
・市立小諸高原美術館・白鳥映雪館協議会を3回(1回は書面)開催し、事業計画や美術館の充実に向けた取組について協議した。 ・多くの市民に来館してもらえるよう、広報こもろ、ホームページ等により周知を行った。							
・活動指標の入館者数について、近年の入館者数を考慮し、10,000人から14,000人に修正した。(R3年度～)							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
・広報こもろ、ホームページ、SNSなどを活用して美術館の魅力のPRを実施する。							

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
高原美術館・白鳥映雪館企画展開催事業		継続		6		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	高原美術館・白鳥映雪館の企画展の開催 (小諸・地域に関わりのある作品を中心に展示し、その鑑賞により来館者に有意義な時間を過ごしてもらう。)					
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	年度別事業費		3,666 千円	1,671 千円	3,341 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	200 千円	6 千円	699 千円	
一般財源		3,466 千円	1,665 千円	2,642 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	企画展等開催回数	回	計画	10	10	10
			実績	12	9	12
			計画			
		実績				
令和3年度 実績				特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、人物写生会展を中止したが、感染予防対策をとりながら12回の企画展を開催した。 4月から11月の間、毎月まなびのまち造形講座(9講座)を開催した。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある企画展を開催し、市内外に向けて情報発信を強化する。 来館者増を図るため、来春オープンするスタラス小諸との連携による取組を検討する。 						

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
藤村記念館運営事業		継続		8		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	藤村記念館の運営・維持管理 (島崎藤村の遺墨、遺品及び関係資料を収集し、保管し、これを教育的配慮の下に展示して、市民の利用に供し、その教養と調査研究等に資する。)					
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	年度別事業費		9,263 千円	8,945 千円	8,898 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	354 千円	868 千円	301 千円	
一般財源		8,909 千円	8,077 千円	8,597 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	入館者数	人	計画	43,000	43,000	34,000
			実績	32,695	14,999	19,497
	藤村忌参加者	人	計画	200	200	200
実績			200	20	20	
令和3年度 実績				特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策をとりながら、藤村文学講座の他、特別展「島崎藤村自筆原稿展」、企画展「牧野伸英が描く小諸の風景と島崎藤村の『千曲川のスケッチ』」を開催した。藤村忌は、関係者のみの参加により実施した。 活動指標の入館者数について、実態と乖離しているため43,000人から34,000人に下方修正した。(R3年度～) 						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> 広報こもろ、ホームページ、SNSなどを活用し、幅広い世代に向け記念館のPRを行う。 						

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
小諸義塾記念館運営事業		継続		9			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	小諸義塾記念館の運営・維持管理 (小諸義塾に関する資料を収集、保管、展示し、市民の学習、学術、文化の発展に資する。)						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定 財源	国・県支出金	4,225 千円	2,404 千円	3,176 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	22 千円	9 千円	13 千円		
		4,203 千円	2,395 千円	3,163 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	入館者数		人	計画	12,000	12,000	12,000
				実績	10,809	5,909	7,577
				計画			
実績							
令和3年度 実績				特記事項			
・無人管理を含め令和4年度以降の記念館の運営方法について検討を行った。							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の 方針	維持	
・入館者を増やすため、市立小諸図書館と連携した企画やPRを行うとともに、ホームページやSNSを活用した周知を行う。							

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
高濱虚子記念館運営事業		継続		10			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	高濱虚子記念館の運営・維持管理 (高濱虚子に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民文化の振興に寄与する。)						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定 財源	国・県支出金	9,433 千円	7,570 千円	8,611 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	297 千円	282 千円	141 千円		
		9,136 千円	7,288 千円	8,470 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	入館者数		人	計画	2,400	2,400	2,400
				実績	1,943	403	673
	虚子・こもろ全国俳句大会応募者		人	計画	6,000	6,000	6,000
実績				5,007	4,180	4,027	
令和3年度 実績				特記事項			
・新型コロナウイルス感染症の影響により、虚子・こもろ全国俳句大会は、当日句や表彰式を行わずに実施し、日盛俳句祭は郵送による通信特別大会として実施した。 ・感染防止対策をとりながら俳句講座、企画展を実施した。 ・令和2年度に引き続き、冬季(12~3月)を閉館とし、虚子・こもろ全国俳句大会の事務を記念館の職員が市役所において行った。							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の 方針	維持	
・入館者増につながる企画展を企画し、広報こもろ、ホームページ、SNS等で周知を行う。							

事務事業名			新規・継続		
社会教育総務費給与費			継続		
会計・款・項・目			所 管 課		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費			文化財・生涯学習課		
投入 指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		年度別事業費	87,046 千円	80,704 千円	101,762 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	87,046 千円	80,704 千円	101,762 千円	

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-4	かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

「KOMORO HISTORY」「小諸ふるさと遺産」「古文書学習講座」などにより文化財に関する学びの機会を醸成している。また、指定文化財保護補助金により保存・継承を図っている。

文化財の所有者・継承者の高齢化や後継者不足などにより、保存・継承・活用等が難しくなっている。

古文書の整理・調査を古文書調査室で行っているが、収集・保存・展示・調査研究等を行う体制が不足しており、郷土の貴重な歴史的資料や古文書等の散逸が危惧される。

課題であった国重要文化財「旧小諸本陣(問屋場)」の解体・復原工事に着手するが、多額の費用を投じるため、今後の活用方法を含め十分な検討を要する。

◆方針

目的
<p>小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等と連携を取り積極的な有効活用を図る。</p> <p>個人や団体が所有・継承している文化財は、適切に保存・継承・活用等ができるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。</p> <p>郷土の貴重な歴史的資料や古文書等が散逸しないよう、収集・保存・展示・研究等を一体的に行う体制の充実を図る。</p> <p>ふるさと「小諸」を愛し、大切に思う心を育み、歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさを活かした「ふるさと学習」を進める。</p>

◆令和3年度重点方針と目標

- ・文化財を適切に保存・継承し、観光等に有効活用できるよう情報提供や助言を行う。
- ・国重要文化財「旧小諸本陣(問屋場)」の復原後の有効活用について検討する。
- ・国重要文化財「小諸城三之門」の災害復旧事業への支援を行う。
- ・小諸ふるさと遺産認定事業を継続し、市民への浸透を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①文化財が適切に保存・継承されるとともに、観光面等で有効に活用されている状態。</p> <p>②地域や住民が自ら、文化財を保存・継承するための活動が行われている状態。</p> <p>③歴史的資料や古文書等の収集・保存・展示・研究等を一体的に行い、活用されている状態。</p>

◆実績

令和3年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・国重要文化財「旧小諸本陣(問屋場)」の解体復原工事に着手し、解体の第1期工事がほぼ終了した。 ・個人や団体等が所有する指定文化財の保存継承に必要な経費に対して、補助金を交付した。 ・小諸市古文書目録第6集(柏木村小山家文書)を発行した。 ・与良町郷蔵が、小諸市内で9棟目となる「国登録有形文化財」に登録されることになった。 	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	伝統行事や文化財の保存・活用の状況に対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	伝統行事や文化財の保存や活用の状況に満足と感じている人の割合が高くなれば、文化財の保存・継承・活用等が適切に行われていると考えられるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	67.3	計画	69	71	73	75	
		実績	69.3	67.8			
指標名	指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の申請数						
設定理由	指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の活用により、文化財を保存・継承するための活動が行われていると考えられるから。						
算式						単位	件
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	15	計画	15	15	15	15	
		実績	13	14			
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

拡充

<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財の適切な保存継承を図るとともに、活用方策を検討する。 ・関係者の協力を得て、国重要文化財「旧小諸本陣(問屋場)」の解体復原工事を進め、復原後の観光面での有効活用に向けた検討を行う。 ・旧北国街道沿いの本町及び市町地区を中心に、伝統的建造物群保存対策調査を行う。 ・認定した「小諸ふるさと遺産」を、多くの市民に知ってもらうために、PRを行う。 ・古文書調査室を中心に、歴史的な資料や文書の収集、整理、保存、研究等を進める。

◆個別計画

教育振興基本計画

◆特記事項

--

施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
文化財保護活用事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	<p>・小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面と連携を取り積極的な活用を図る。</p> <p>・個人・団体が所有する文化財が、適切に保存・継承されるとともに、有効活用がなされるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。</p> <p>・ふるさと「小諸」を愛し、大切に思う心を育み、歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさを活かした「ふるさと学習」を進める。</p>					
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	年度別事業費		8,689 千円	5,718 千円	7,358 千円	
	特定財源	国・県支出金	2,176 千円	1,398 千円	879 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	861 千円	0 千円	2,903 千円	
一般財源		5,652 千円	4,320 千円	3,576 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	学芸員の配置人員	人	計画	2	2	2
			実績	3	2	3
	文化財保護審議会の開催回数	回	計画	2	2	2
実績			1	0	1	
令和3年度 実績					特記事項	
<p>・与良町郷蔵が、市内で9棟目となる「国登録有形文化財」として登録されることとなった。</p> <p>・指定文化財の管理等のため文化財保護事業補助金を交付した。</p> <p>・伝統的建造物群保存対策調査に向けて、先進地視察、文化庁及び県教委との協議を実施した。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	拡充
<p>・懐古園の県名勝指定の早期実現のため、申請に向け準備を行う。</p> <p>・認定したふるさと遺産の周知や観光面での活用について関係機関と協議を行う。</p> <p>・旧北国街道沿いの本町及び市町地区を中心に、伝統的建造物群保存対策調査を行う。</p>						

施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
旧小諸本陣建造物保存修理事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	2:有			
事業概要	<p>北国街道沿いにある国重要文化財「旧小諸本陣(問屋場)」は、城下町であり、宿場町でもあった往時の小諸を偲ばせる貴重な建築物です。著しく老朽化が進行しているため、これを往時の姿に復原し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復原工事を実施する。</p>					
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	年度別事業費		2,695 千円	7,717 千円	61,983 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	7,160 千円	32,670 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	25,300 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		2,695 千円	557 千円	4,013 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	解体工事の着手		計画	設計等	解体工事着手	工事実施
			実績	設計等	設計等	解体工事着手
	解体復原工事について協議する委員会の開催	回	計画	—	1	2
実績			—	0	1	
令和3年度 実績					特記事項	
<p>・解体復原工事に着手し、解体の第1期工事がほぼ終了した。工事について広報、ホームページで情報を発信した。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<p>・工事内容及び進捗状況について、広報こもろ、ホームページ等で情報発信を行う。</p> <p>・文化財保護審議会において復原後の活用について検討する。</p>						

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-5	スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

所 管	スポーツ課
関 連	健康づくり課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

小諸市では、地域指導者によるスポーツ少年団活動や各種団体の教室、大会の開催などによる様々な年代層へのスポーツ振興が行われている。また、ウォーキングなど年齢や体力に応じた健康保持につながる生涯スポーツも推進している。しかし、スポーツニーズが多様化するなか、参加者や競技団体の減少、団体役員の高齢化などもあり、ニーズに応じた教室の検討や競技団体と連携した人材(担い手)育成が課題となっている。

◆方針

目的

スポーツ推進計画に基づいて、関係団体と利用者ニーズに応じた教室の開催や指導者育成によるスポーツ振興に取り組むとともに、今後予定されている2028年の国民スポーツ大会への準備を進める。それぞれの体力や年齢・目的などに応じて、生涯を通じてスポーツに親しみ、活動する取り組みを関係課と連携して進める。スポーツに親しむ環境を整備するため、体育施設の充実や個別施設計画による統廃合を含めた適切な整備を図り、安全安心な利用が行える施設管理に努める。国内トップレベルの選手(アスリート)と交流する機会の充実を図り、競技への興味やスポーツをするきっかけづくりなど市民がスポーツに親しみ、まちの活性化、健康づくりにつながる取り組みを進める。

◆令和3年度重点方針と目標

- ・各種団体と連携し、年齢・体力・ニーズなどに沿ったイベント・教室の開催を企画する。
- ・2028年の国民スポーツ大会に向けての準備を進めるとともに、スポーツ推進計画による体育施設の適切な維持管理に努める。
- ・市民交流会やアスリートによる教室を開催し、アスリートと市民が交流する機会の充実を図る。

◆目標

- ・目標の計画と達成状況

計 画

- ①体育施設の利用などを通じて、地域でのスポーツに親しむ人が増え交流や活動が増える状態。
- ②市民がそれぞれの体力や年齢・技術・興味・目的などに応じてスポーツに親しむことができる状態。

◆実績

令和3年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大のため、前年度に続き大会実施が難しい状況であったが、参加者の健康観察シートの提出による感染防止対策の徹底や開閉会式の縮小などの工夫をして、児童生徒夏季体育大会などを実施した。 ・アスリート交流会として、芦原中学校と小諸高校で講演会を開催した。併せて、講演内容や小諸市の高地トレーニングの魅力を広く発信するため、特集番組を作成しCTKで放送するとともに、YOUTUBE小諸市公式チャンネルでも閲覧ができるように対応をした。 ・東京2020オリンピック開催に合わせ、子どもたちに実物を見てもらうため市内小中学校で聖火リレーのトーチやユニフォームの展示を行うとともに、オリンピック直前合宿を小諸で行っている日本トライアスロン連合男女ナショナルチームの選手たちの応援として、等身大パネルを市役所ロビーに設置した。 	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	スポーツ・レクリエーションの環境づくりに対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	満足度が上がることにより、活動などの行いやすい環境の提供ができていると考えられるから。						
算式	満足、やや満足、普通の合計数値					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	54.5	計画	56	57	58	60	
		実績	55.7	57.5			
指標名	スポーツを身近に感じている人の割合(市民意識調査)						
設定理由	スポーツを身近に感じている人の割合が高まれば、スポーツを通じた交流や活動などが増えていると考えられるから。						
算式	そう思う・ややそう思うの合計数値					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	—	計画	40	41	43	45	
		実績	28.2	29			
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ交流によるアスリートと子どもたちの交流する機会の充実を図る。 ・国の指針などによる感染防止対策を徹底し、教室や大会の開催を図る。 ・関係する団体やスポーツ推進員等と連携し、生涯スポーツの推進を図る。 ・2028年開催予定の国民スポーツ大会に向けて、準備を進める。 ・高峰高原の優位性を生かした取り組みを推進する根拠として、東海大学スポーツ医科学研究所との包括連携による高地トレーニングのエビデンス(科学的根拠)の作成を進める。

◆個別計画

教育振興基本計画／スポーツ推進計画

◆特記事項

<p>成果指標の「スポーツを身近に感じている人の割合」令和2年度より新規設定し、目標値は以前の「文化・芸術・スポーツを身近に感じている人」の割合に準じて設定したが、新規設問が「スポーツのみ」の回答範囲に限定したため、数値が減少し目標値との乖離が生じている。</p>

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
保健体育総務費運営費		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課		1:無			
事業概要	市民のスポーツの推進、振興を図るため、スポーツ推進審議会の開催、小諸市体育協会をはじめ各スポーツ団体への助成等を行う。						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		5,169 千円	5,263 千円	5,366 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		5,169 千円	5,263 千円	5,366 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	スポーツ推進審議会、体育協会、競技団体等との協議の回数		回	計画	—	—	39
				実績	—	—	29
				計画			
実績							
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会などでの感染拡大を防ぐため、国及び上位競技団体より示された新型コロナウイルス感染拡大防止の指針を基にした大会や教室の開催について、各団体と情報共有をして開催や運営を行い感染防止に努めた。 ・開催競技団体と連携し、国民スポーツ大会に向けての施設改修などの情報交換を進めた。 			令和3年度から活動指標を変更する。 (変更前)スポーツ推進審議会の開催数 (変更後)スポーツ推進審議会、体育協会、競技団体等との協議の回数				
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市体育協会やスポーツ少年団、小諸市スポーツ推進委員会、浅間嶺スポーツクラブと連携し、第2期小諸市スポーツ推進計画に基づく活動を進め、地域スポーツの推進や振興を図る。 ・2028年の第82回国民スポーツ大会のレスリング会場となることから、開催に向けた環境整備を関係する競技団体と連携して進める。 					今後の方針	維持	

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
スポーツ推進委員会運営事業		継続		9			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課		1:無			
事業概要	市のスポーツ推進事業の実践を担うスポーツ推進委員の活動を支援する。						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		734 千円	585 千円	587 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		734 千円	585 千円	587 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	出前講座、講習会・研修会等の回数(開催・参加)		回	計画	—	—	15
				実績	—	—	2
				計画			
実績							
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・新たに推進委員が講師となる「出前講座」を開設し、2つの区から「ポッチャ」の体験依頼があったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となってしまった。 ・ふれあいフェスティバルで親子「ポッチャ体験教室」を開催し、大勢の参加があり好評であった。 ・県が主催するポッチャ講習会へスポーツ推進委員が参加し、指導者としてのスキルアップを図った。 			令和3年度から活動指標を変更 (変更前)定例会の開催数 (変更後)出前講座、講習会・研修会等の回数 (開催・参加)				
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・各地域での活動を通じてスポーツ推進委員となりうる地域のリーダーを養成する。 ・近年人気のあるパラリンピック正式種目のポッチャ等、ニュースポーツの講習会を地域で開催できるようにスポーツ推進委員を対象に定例会後に講習を行う。 ・健康づくり課や浅間南麓こもる医療センターなどの関係機関と連携し、健康づくりとしての生涯スポーツの取り組みを進める。 					今後の方針	維持	

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
スポーツ大会等運営事業		継続		4		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課		1:無		
事業概要	幅広い年齢層に対応したスポーツ大会やスポーツ教室等を開催する。					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	3,656 千円	925 千円	2,810 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	3,656 千円	925 千円	2,810 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	市主催のスポーツ大会数	大会	計画	9	8	8
			実績	10	0	6
	競技団体等主催市内スポーツ大会数	大会	計画	82	82	84
			実績	80	46	68
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 「児童生徒夏季体育大会(女子ソフトボール、少年野球、柔道、剣道、ソフトテニス)」を、健康観察シートの提出などによる感染防止対策や開閉会式の縮小などの工夫により実施できた。 新型コロナウイルス感染拡大のため、開催が難しい大会もあったが感染対策を徹底し前年度を上回る大会が開催できた。 			目標・活動指標追加:平成30年度分から市の主催大会数だけではなく市内で開催される大会数を追加			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> スポーツ大会、スポーツ教室について周知が広がるように、広報こもろ、ホームページ、SNS等による発信を行う。 体協各部が主催する市民大会について、利用者ニーズを把握し体協が主体的に運営できるよう支援を行う。 						

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
学校開放事業		継続		8		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課		1:無		
事業概要	市内の小中学校の体育施設(校庭・体育館)を地域のスポーツクラブ・スポーツ団体等に開放する。					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	235 千円	259 千円	43 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	235 千円	259 千円	43 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	登録団体数	団体	計画	45	46	48
			実績	48	45	44
	令和3年度 実績			特記事項		
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学校開放が出来ない状況時の情報発信を各団体向けに実施して、学校開放可否の周知に努めた。 利用にあたり感染防止を徹底するため、手指消毒用器具や利用後の消毒用モップなどを各校に設置した。 					
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> 施設使用時の消毒や利用後の器具清掃等の適切な感染防止対策を行い利用することを利用団体へ周知徹底する。 利用団体が学校体育施設を円滑に利用できるよう調整会議等で利用調整を図る。 						

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
高地トレーニング等推進事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	2:有			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高地トレーニング構想の推進として、オリンピック事前合宿等の誘致及び、当該合宿チーム等を支援する。 ・2028年の国民スポーツ大会での当該種目の競技力向上のための支援をする。 ・アスリートと子どもたちとの交流を図る。 ・上記に必要な市施設の環境整備等を実施する。 					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	1,051 千円	365 千円	515 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	1,051 千円	365 千円	515 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	高地トレーニング関係の延べ宿泊数	件	計画	2,100	2,100	1,500
			実績	2,351	1,417	1,521
			計画			
			実績			
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック直前合宿支援として、日本トライアスロン連合男女ナショナルチームの合宿支援を行った。 ・芦原中学校及び小諸高校で、アスリート交流(講演会)を実施した。 ・東海大学スポーツ医科学研究所との包括連携による、高地トレーニングの効果を検証するエビデンス作成のための具体的スケジュールの策定を進めた。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市エリア高地トレーニング推進協議会と連携し、アスリートや競技団体等の合宿受入やアスリートと交流する機会の充実を図り、スポーツによるまちの活性化となる取り組みを進める。 ・高峰高原の優位性を活かした取組みを推進するための根拠として、高地トレーニングのエビデンス(科学的根拠)の作成を、東海大学スポーツ医科学研究所との包括連携協定により進める。 					今後の方針	維持

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
体育施設運営費		継続	7			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無			
事業概要	教育委員会が管理する各体育施設及び付帯施設の維持管理 (南城公園マレットゴルフコース・南城公園内トイレ・乙女湖公園テニスコート・乙女湖公園ゲートボール場・乙女湖公園内トイレ・乙女湖公園内管理棟・市営野球場・平成の森マレットゴルフコース・御影マレットゴルフコース)					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	6,507 千円	6,060 千円	5,956 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	634 千円	605 千円	840 千円	
		一般財源	5,873 千円	5,455 千円	5,116 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	担当職員の巡回による施設点検の回数	回	計画	—	—	52
			実績	—	—	65
			計画			
			実績			
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体育施設利用基準を近隣市町の状況も参考にして小諸市の基準を定め利用団体に周知し、施設利用者間の感染拡大防止対策を行った。 			令和3年度から活動指標を変更(変更前)体育施設の事故件数(変更後)担当職員の巡回による施設点検の回数			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体と協議する場を設け修繕などを計画的に行い、利用者の利便性の向上を図る。 ・効率的な利用と運営を進めるため、利用者調整会議等を開催し利用者間の調整を図る。 					今後の方針	維持

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
総合体育館等運営事業		継続		3		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課		1:無		
事業概要	指定管理による体育施設の維持管理。 (総合体育館、武道館、アーチェリー場、すぱーく小諸、和田体育館、懐古射院)					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	14,968 千円	18,800 千円	13,013 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	14,968 千円	18,800 千円	13,013 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	総合体育館利用者数	人	計画	48,000	48,000	54,500
			実績	54,351	22,428	28,837
			計画			
			実績			
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予約のあった中高生の部活動や夏場の合宿が自粛やキャンセルとなったが、自主事業のジム利用者の増加もあり前年度より利用者は増加した。 毎月1回の指定管理者との連絡会議を行い、運営状況の把握や感染防止対策等を協議しながら運営が行えた。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と定例会を毎月開催し、施設の維持管理及び運営状況を把握し、事業展開の共有を図る。 小諸市エリア高地トレーニング推進協議会との連携により合宿時の施設利用等による利用者の増加を進める。 2028年の第82回国民スポーツ大会のレスリング会場となるため指定管理者、関係スポーツ団体と協議をしながら準備を進める。 					今後の方針	維持

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
南城公園プール運営事業		継続		10		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課		1:無		
事業概要	スポーツ施設、レジャー施設として南城公園プールを運営・維持管理する。					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	18,428 千円	1,870 千円	1,612 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	2,064 千円	0 千円	0 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	南城公園プール入場者	人	計画	15,000	15,000	13,000
			実績	12,011	0	0
			計画			
			実績			
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度についても、昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大のためプール営業は中止した。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> 施設廃止により、管理棟維持管理費などの施設管理費を大栄小諸球場運営事業への移行を行う。 施設の後利用計画などについて、財政課や都市計画課と協議を進める。 					今後の方針	廃止

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
大栄小諸球場運営事業		継続	5				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無				
事業概要	大栄小諸球場の施設及び付帯施設の維持管理。						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	26,227 千円	3,386 千円	4,181 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	1,975 千円	1,434 千円	1,384 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	大栄小諸球場利用率		%	計画	68	68	68
				実績	92	42	47
				計画			
			実績				
令和3年度 実績			特記事項				
・ラバーフェンスへの有料広告掲出料等を財源として、スコアボード等の塗装修繕を行った。			平成31年度より体育施設運営費から事業出した。				
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 小諸市スポーツ推進計画に基づき、計画的な維持管理を行う。 ラバーフェンスへの有料広告掲出は、ファウルグラウンドやダグアウト上部も検討し、さらなる自主財源の確保に努める。 継続して球場のネーミングライツの推進を図り、自主財源の確保に努める。 					今後の方針	維持	

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
天池総合運動場運営事業		継続	6				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無				
事業概要	小諸市総合運動場の施設及び付帯施設の維持管理						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	1,802 千円	2,930 千円	2,627 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	122 千円	71 千円	152 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	高地トレーニング合宿受入団体数		団体	計画	18	19	20
				実績	29	20	16
	野球場、陸上競技場、サッカー場の利用団体数		団体	計画	—	—	25
実績				—	—	26	
令和3年度 実績			特記事項				
・野球場・陸上競技場などの利用団体数が計画を上回る26団体の利用があった。			<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度より体育施設運営費から事業出し 令和3年度から施設を利用した団体数を追加する。 「野球場、サッカー場(多目的)、陸上競技場」の利用団体の数 				
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> トップアスリートの高地トレーニング合宿の拠点施設の一つとなるよう、管理委託先である浅間嶺スポーツクラブによる、競技者と利用者双方の視点からの適切な維持管理を行う。 陸上トラック、野球場、ミニサッカーがある総合運動場としての利点を周知し利用者増を図る。 					今後の方針	維持	

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-6	市民の人権意識を高めます

所 管	人権政策課
関 連	人権同和教育課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

平成30年度の「人権・同和問題、男女共同参画に関する市民意識調査」によると、約3割の人が「人権を侵害されたことがある」、また、「性別によって役割を固定する考え方」について2割以上の人が賛成と回答している。令和元年度から令和2年度に「部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画」「男女共同参画こもろプラン7」の策定に向けた、女性、障がい者団体などとの聞き取り調査でも、差別、偏見、不平等などを受けた体験が語られた。
このような状況を踏まえ、差別のない、すべての人の人権が尊重される社会の実現を図る必要がある。

◆方針

目的

社会には、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人等に対する差別や偏見など、様々な人権問題が存在している。すべての人の人権が尊重され、差別のない小諸市を築くため、家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、学習や啓発、交流活動を通じて市民の人権意識を高め、差別や偏見など人権が侵害されたときに、適切な相談・解決の支援を受けられるよう、体制を充実させる。また、女性活躍推進などの取り組みにより、男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現を目指す。

◆令和3年度重点方針と目標

- ・地域における人権教育の場である人権懇談会において、「部落差別解消推進法」の周知、啓発を図るとともに、全区での開催をめざして未開催区への働きかけを強化する。
- ・人権センターの教育、啓発、相談等の機能を高めるとともに、耐震診断結果を踏まえ、今後の施設のあり方を検討する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①市民が、家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、人権に関する知識が得られ、様々な人々との交流の機会を通じ、差別や偏見等に気づくことができる人権感覚が身についた状態。
- ②市民が人権問題について、必要なときに相談ができ、解決に向けた支援が受けられる状態。
- ③男女共同参画及びジェンダー平等社会が実現できた状態。

◆実績

令和3年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・人権懇談会や集会所事業は、コロナの感染状況に配慮しながら可能な範囲で実施したが、参集での開催が難しい区では人権懇談会に替えて啓発文書を区内全戸へ配布した。 ・企業や市内の幼保小中養高への啓発では、コロナの感染状況に配慮しながら可能な範囲で研修会等を実施した。関係機関のオンライン研修や資料を活用して啓発を行った。 ・人権センター(隣保館)事業として、自主事業、相談事業を行った。・男女共同参画事業として、子育てに関するフォーラムや女性ネットの研修を行った。・多文化共生事業として、相談事業、日本語教室を行った。 ・令和2年度繰越事業である人権センターの耐震診断を実施し、避難所利用も可能な公共施設の耐震基準を満たしていることを確認した。 	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	1年以内に、差別や偏見など人権を侵害されたことのある人の割合(市民意識調査)						
設定理由	人権を侵害されたことのある人の割合が低くなれば、市民の人権意識が高まったと考えられるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	9.8	計画	0	0	0	0	
		実績	8.3	8.4			
指標名	審議会委員等への女性の参画率						
設定理由	審議会委員等への女性の参画率が高くなれば、男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現に近づくから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	40.4	計画	45	45	45	45	
		実績	37.5	38.2			
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、地域、学校、企業等のそれぞれの場において、部落差別をはじめ、様々な人権課題について、人権同和教育の学習の取り組みに向けた啓発、情報提供に努める。 ・部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けた取り組みの拠点として、人権センターの交流・啓発活動、相談等の機能をさらに高める。 ・男女共同参画こもろプラン7を推進し、男女共同参画社会、ジェンダー平等社会の実現に向けた取り組み、啓発に努める。 ・多文化共生社会を目指し、外国籍市民くらしの相談、日本語教室、交流事業のほか生活する外国人に対する理解に目を向けた事業の充実を図る。 		
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

◆個別計画

教育振興基本計画／部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画／男女共同参画こもろプラン

◆特記事項

--

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位				
隣保館運営事業		継続		2				
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項				
一般会計・3民生費・6人権政策費・2隣保館運営費		人権政策課		1:無				
事業概要	・人権啓発の拠点としての人権センターの運営							
	投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
		年度別事業費	10,270 千円		8,724 千円		15,177 千円	
		国・県支出金	4,374 千円		3,680 千円		3,968 千円	
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円	
その他		157 千円		115 千円		206 千円		
一般財源	5,739 千円		4,929 千円		11,003 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	人権フェスティバルの開催		回	計画	1	1	1	
				実績	1	0	0	
	文化、教養事業の実施回数		回	計画	84	84	79	
実績				125	77	57		
令和3年度 実績				特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・センター自主事業(文化教養事業6事業)を開催(57回、参加者延1,230名) ・人権センター 相談17件 利用状況(貸室等): 利用件数650件 利用者数5,978人。 ・人権フェスティバル(新型コロナのため中止) 				<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度は、新型コロナウイルスの影響により、計画された自主事業や人権フェスティバルが中止となった。 ・令和6年度新たな計画を策定する。 ・令和2年度からの繰り越し事業、耐震診断業務委託料5,940千円。 				
目標の実現に向けた今後の取り組み						今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> ・指導員を配置することにより、相談事業体制の充実を図る。 ・文化、教養、交流事業を実施し、実績発表の場として人権フェスティバルを開催し、人権意識の向上に繋げる。 ・館内の展示資料、人権啓発に関する図書や教材の充実、整備を行う。 ・施設の耐震診断の結果により、今後の施設のあり方を検討する。 								

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位				
男女共同参画推進事業		継続		3				
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項				
一般会計・3民生費・6人権政策費・3男女共同参画推進費		人権政策課		2:有				
事業概要	・男女共同参画推進のための各種講演会・研修会等の啓発活動の実施							
	投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
		年度別事業費	530 千円		325 千円		168 千円	
		国・県支出金	50 千円		50 千円		50 千円	
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円	
その他		0 千円		0 千円		0 千円		
一般財源	480 千円		275 千円		118 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	審議会、委員会等の委員に女性が占める割合		%	計画	45	45	45	
				実績	40.4	37.5	38.2	
				計画				
実績								
令和3年度 実績				特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・こもろいきいきフォーラム「男女が主役の子育て」参加26人 ・男女共同参画セミナー(中止) ・男女共同参画の意識の向上に努めた。 ・小諸女性ネット:積極的な各種取組み、指導者の育成に努めた。活動内容を市民回覧等で周知した。(女性ネット通信) ・小諸市企業内人権同和教育推進連絡協議会会員企業へチラシ等資料を送付し、情報提供等及び啓発活動を行った。 								
目標の実現に向けた今後の取り組み						今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会を推進するため、啓発事業や情報提供を行う。 ・女性活躍推進法に基づく、企業への働きかけを行う。 ・いきいきフォーラムでの意見等をふまえた啓発や関係機関との連携に努める。 								

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
多文化共生推進事業		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・6人権政策費・4多文化共生推進費		人権政策課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 相談等による外国籍市民の地域生活の支援 外国籍市民の日本語学習の支援 外国籍市民支援ボランティアの育成 国際交流事業の支援 					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	415 千円	184 千円	199 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	415 千円	184 千円	199 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	日本語学習支援教室開催回数	回	計画	59	60	60
			実績	61	28	42
	日本語学習支援セミナー等の開催回数	回	計画	2	2	2
			実績	1	0	0
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室を昼の部12回、夜の部30回開催した。 日本語ボランティア学習会については、新型コロナウイルスの影響により中止となった。 国際交流のつどい(ディスカバーこもろ)については、新型コロナウイルスの影響により中止となった。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> 外国籍住民の増加に伴い、国際理解や日本語教室の維持、充実に向けたセミナー等を開催し、外国籍住民との共生社会づくりを推進する。 外国籍留学生を対象とした、交流事業等への支援。 外国籍市民に向けた多言語での各種情報提供。 					今後の方針	維持

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
人権同和教育推進事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・5人権同和教育費・1人権同和教育費		人権同和教育課	1:無			
事業概要	人権同和教育を学校、地域、企業等で推進する。					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	2,896 千円	2,108 千円	2,076 千円	
		地方債	150 千円	42 千円	68 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	120 千円	120 千円	120 千円	
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	人権同和教育推進委員会研修会の開催	回	計画	2	2	2
			実績	1	0	0
	人権懇談会の開催区数	区	計画	3	3	68
			実績	3	1	8
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 人権懇談会は、新型コロナウイルスの影響で、参集方式として2区(参加者38名)、人権啓発文書の全戸配布方式として6区の開催となった。 幼保小中養高人権同和教育研究委員会において、新任・転任教職員等研修会を開催した。 集会所交流事業は32回開催され、延336名の参加があった。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> 人権懇談会の運営内容を助言者会で検討し、各区等に積極的な開催を働きかける。 幼保小中養高人権同和教育研究委員会を通じ、学校での同和教育における「統一単元」の運用、各園各校における取り組み内容に係る情報交換と研修を行う。 企業内人権同和教育推進連絡協議会を通じ、各種研修会の案内や啓発資料等の情報提供、啓発ビデオの貸出等を行う。 					今後の方針	維持

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
人権同和教育促進事業		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・5人権同和教育費・1人権同和教育費		人権同和教育課		1:無			
事業概要 ・解放子ども会の運営							
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	335 千円	308 千円	277 千円		
		地方債	25 千円	25 千円	25 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
		310 千円	283 千円	252 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	解放子ども会の開催回数(交流会含む)		回	計画	31	31	31
				実績	31	29	25
				計画			
				実績			
令和3年度 実績				特記事項			
・毎週金曜日開催の子ども会や交流会等を通じて、差別に負けない子どもの育成を図った。(会員6人:子ども会活動25回) ・会員数は減少傾向。							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
・解放子ども会の運営を、指導員と教職員、保護者で検討し、内容の充実を図る。				今後の方針	維持		

事務事業名				新規・継続	
人権同和政策総務費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費				人権政策課	
投入 指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度
	年度別事業費		4,573 千円	3,709 千円	4,189 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	429 千円
		一般財源	4,573 千円	3,709 千円	3,760 千円
事務事業名				新規・継続	
人権同和政策総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費				人権政策課	
投入 指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度
	年度別事業費		25,765 千円	21,968 千円	21,636 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
		一般財源	25,765 千円	21,968 千円	21,636 千円

